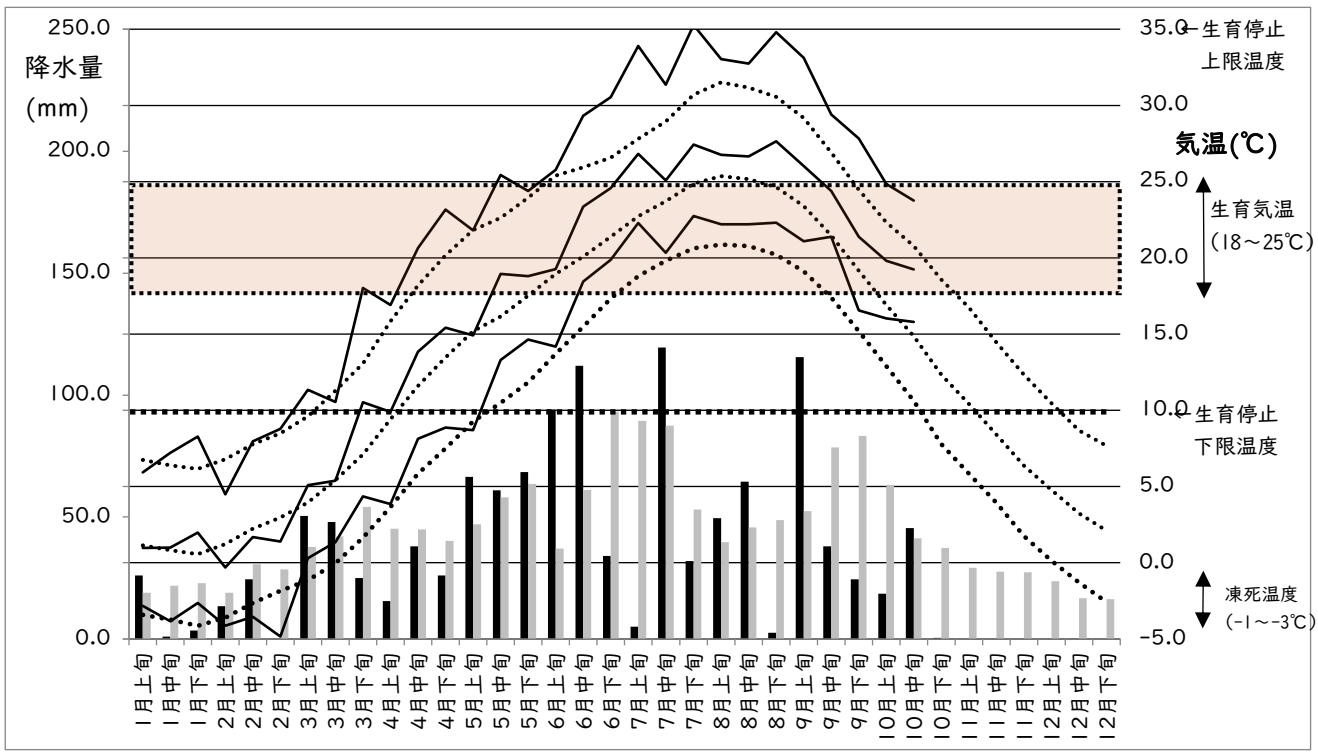


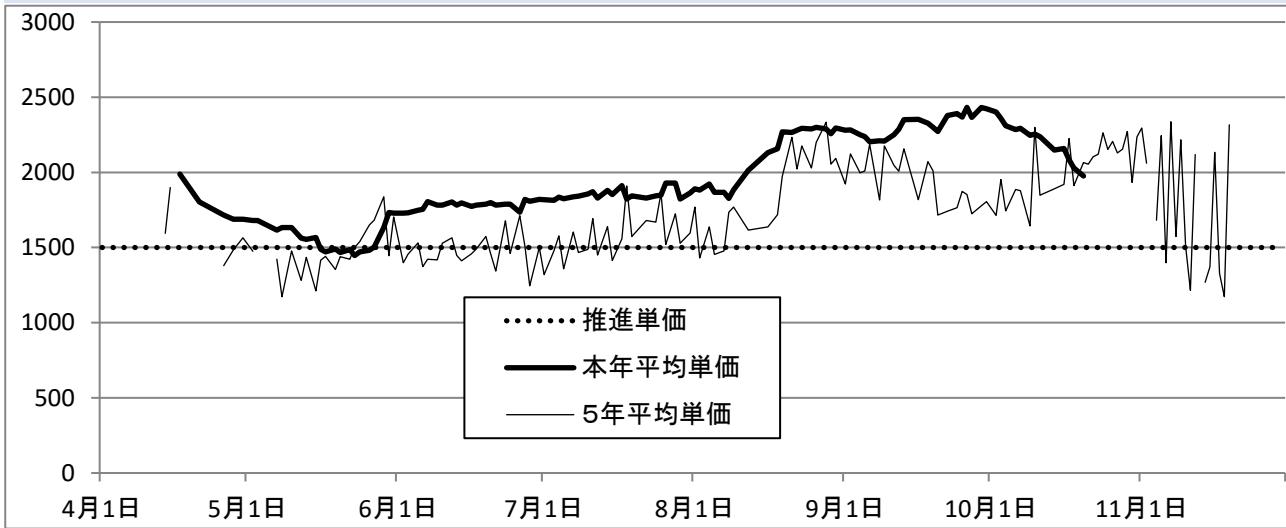
# 月刊きゅうり NEWS

## ～環境モニタリングデータ活用編～

### I 気温の推移(飯田測候所 2025年1月1日~12月31日) ときゅうりの生育温度



### 2 単価の推移(5kg 単価: 中京市場の高値、中値、底値の単純平均 推進単価: 本県野菜基本計画の推進単価)



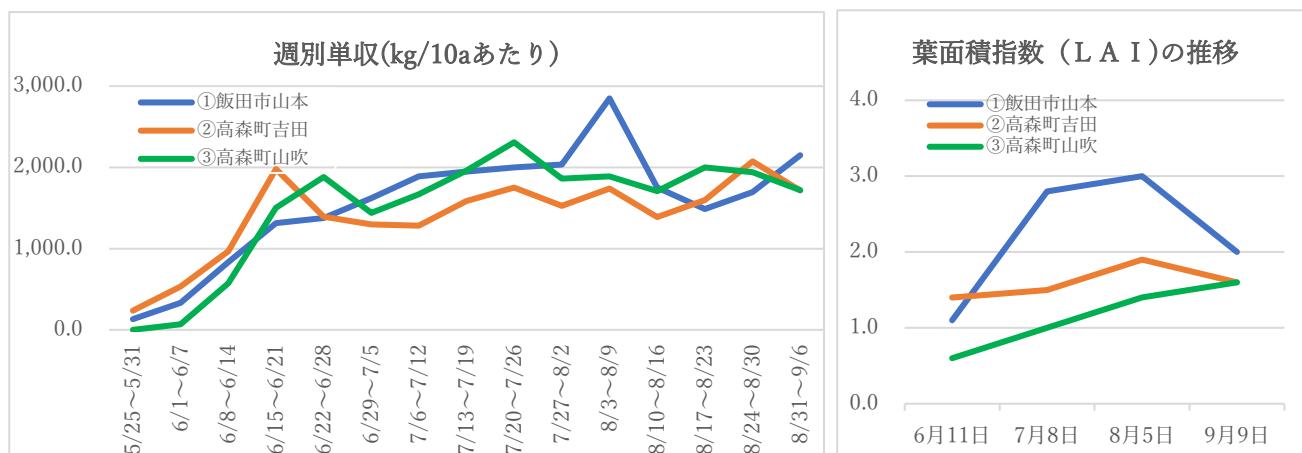
### 3 関東甲信地方の向こう1か月の予報(10月16日気象庁発表 10月18日から11月17日の見通し)

- ・予報のポイント: 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、高いでしょう。
  - ・低気圧や前線及び湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の日照時間は平年並かないでしょう。
  - ・天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ※ 東海地方も同様の予報となっています。

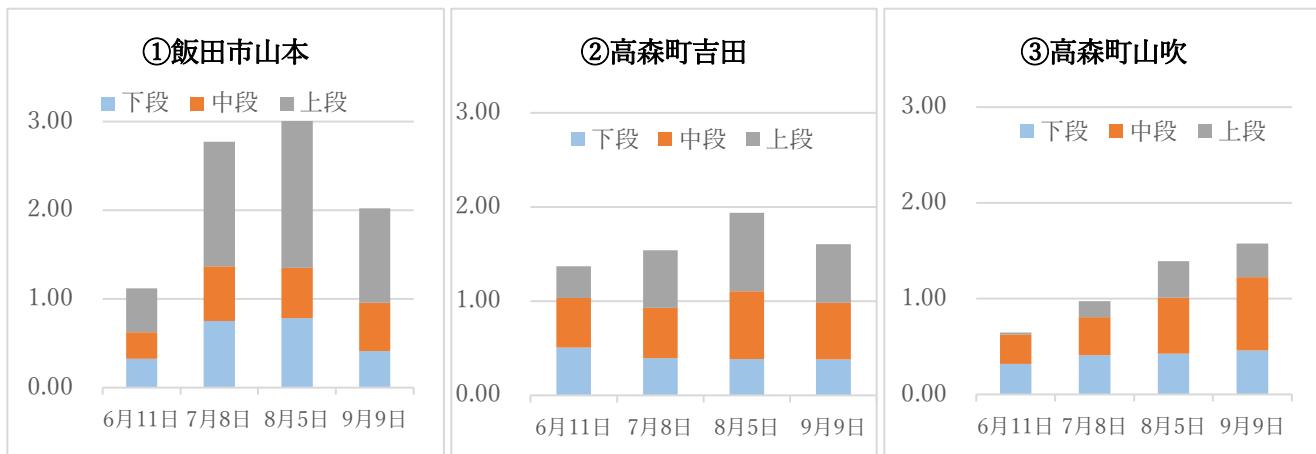
#### 4 夏秋きゅうり優良生産者の生育状況（令和7年9月9日時点）について

①飯田市山本（標高 635m） 定植：4/26 収穫開始：5/26 品種：TCU093（台木：G T II） 葉面積指数 2.0（葉数 145 枚/株） 茎径 5.0mm、節間長 9.6cm	②高森町吉田（標高 690m） 定植 4/27 収穫開始：5/25 品種：ニーナ（台木：R K 3） 葉面積指 1.6（葉数 100 枚/株） 茎径 6.9mm、節間長 12.5cm	③高森町山吹（標高 450m） 定植：5/14 収穫開始：6/5 品種：夏彩（台木：ぞっこん） 葉面積指数 1.6（葉数 117 枚/株） 茎径 5.8mm、節間長 9.9cm

\*茎径・節間長は各 5 株調査の平均。調査位置は雌花開花直下の節で、1 株あたり 3 節調査。



・優良生産者の収量はいずれも 9 月上旬時点で 20t/10a 以上となりました。



※下段：地上から 80cm まで、中段 80～140cm まで、上段 140cm 以上

・上段の葉の分布には農家ごとの違いが見られましたが、9月9日の調査では、いずれの農家でも中段の葉がしっかりと確保されており、順調な生育がうかがえました。

#### 5 今月のトピックス

##### ◎ 第3回南信州きゅうり モニタリングデータ活用現地研修会を開催しました。

令和7年9月24日（水）に高森町吉田 木下さんのきゅうりハウスにて、本年度3回目となる現地研修会を開催しました。今回は、葉面積が下段・中段・上段でどのように分布しているか、また土壌水分と収量の関係性等について得られたデータをもとに、結果の報告と意見交換を行いました。

今後も引き続きデータ分析を進め、来年1月に開催予定の情報交換会にて成果報告を行う予定です。